

1. ごあいさつ

《2025 年安全報告書の発刊にあたって》



北大阪急行電鉄株式会社
代表取締役社長 奥野 雅弘

平素は当社の鉄道事業に対しまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

2024 年度は南海トラフ地震臨時情報の発令や鉄道各社でのトラブル事案が相次ぎ、安全管理体制を見直す必要性を改めて認識する一年となりました。なかでも、複数の会社で発生した輪軸圧入作業における不適切事案発生に際しては、当社においても調査・点検を実施し、問題がないことを確認しております。こうした他社で発生した事象を「他山の石」として捉え、「安全・安心」の確保に全社一丸となって取り組んでまいります。

当社では、1970 年の開業以来、有責事故ゼロを継続しており、2024 年度は国土交通省・近畿運輸局より「連続 25 期 運転無事故表彰」を受賞いたしました。今後も「安全・安心の提供」を最重要事項と位置づけ、全役員・社員が一丸となって、安全管理体制のさらなる充実・強化に努めてまいります。

2024 年度の安全対策としてハード面では、地震による影響を抑制するため名神高速道路上の架道橋に移動制限装置を設置しました。また、乗務員から提出されたヒヤリハット申告に基づき、進路表示機の視認性向上を目的に信号機との離隔改善工事を実施しております。現場からの意見を積極的に吸い上げ、設備改善に結びつける体制を通じて、安全性のさらなる向上に努めております。

またソフト面では、南海トラフ地震の発生リスクが高まる中、激甚化・頻発化する自然災害への対応力を強化すべく、防災の基本方針を策定し、発災時の被害軽減および拡大防止に努めております。加えて、他社において発生した不正事案や重大トラブルについては、毎月開催している「安全管理推進委員会」において情報共有を図るとともに、当社の安全管理体制および運用への適用可能性を検討し、必要に応じて現場部門への展開や注意喚起を行うことで、事故・災害の未然防止に努めております。さらに、2024 年 7 月には、所轄の警察・消防と合同で、列車内放火事象を想定した夜間避難訓練を箕面船場阪大前駅と千里中央駅間の単線シールドトンネル内において実施しました。本訓練では、非常停止後の避難誘導や排煙状況の確認、消防隊による進入経路の確認などを通じて、初動対応体制の有効性を検証するとともに、関係機関との実践的な連携強化を図りました。

本報告書は、鉄道事業法第 19 条の 4 に基づき、2024 年度における当社の輸送の安全確保に関する取組みを広くご報告することを目的に作成いたしました。皆さまからのご意見・ご感想を賜りますようお願い申し上げますとともに、今後とも当社の鉄道事業に対するご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。